

基本構想

第6次 多度津町総合計画

平成 28 年度 ▶ 平成 35 年度

ひと・暮らし・歴史が共生するまち たどつ



多度津町
TADOTSU TOWN

ごあいさつ

このたび、平成35年度を目標とし、これからの8年間を見据え、多度津町の未来に向けた行動指針となる、第6次多度津町総合計画を策定いたしました。

第5次総合計画策定時から社会経済情勢は大きく変化し、また、人口減少社会への移行が確実となり、人々の価値観やライフスタイルが一層多様化する中において、地方が主役となる地方新時代にふさわしい自治体として、まちを良くしていくために必要な優先的事業を選択し、集中することを主眼としました。



このため、第6次多度津町総合計画は、過去の総合計画とは違った構成になっております。

各構想や方針を理念的に示すだけでなく、前後期4年間の実行計画を明示し、すべての事業について2年ごとに見直すことにより、“何を”“どう”実施するのかを具体的に示し、実行することではじめて意味を持つ計画とし、町民の皆様がいきいきと輝き、安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。

町内各方面でご活躍の皆様方に、さまざまな形で計画策定に参画していただき、多くのご意見を伺うことができました。ご指導、ご協力に感謝申し上げます。また、本計画の実現に向けては、町民皆様と行政の協働による着実な推進が重要と考えております。皆様方のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたりご尽力をいただきました総合計画審議会委員をはじめ、まちづくり委員会、関係各位、並びに町民の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成28年4月

多度津町長 丸 尾 幸 雄



目次

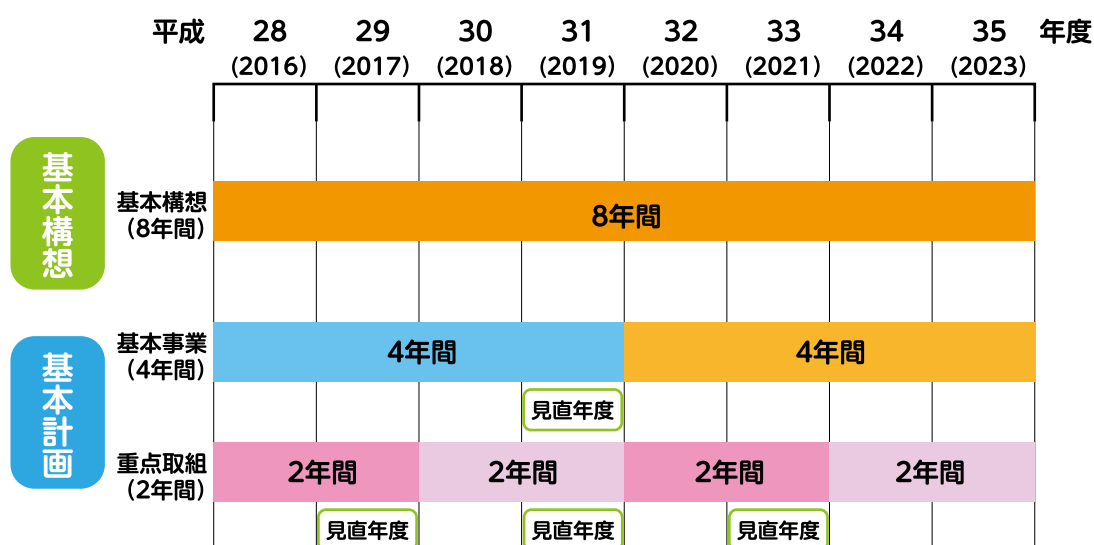
I	総論	1
1.	策定の趣旨	1
2.	策定の基本的視点	1
	（1）町民の満足度向上	1
	（2）町民との協働によるまちづくり	1
	（3）持続可能な町の経営	1
3.	総合計画の構成等	2
	（1）構成・計画期間	2
	（2）評価・検証	2
4.	本町の概要	3
	（1）位置と地勢及び人口	3
	（2）歴史	6
	（3）町民ニーズ（アンケート調査結果）	7
5.	人口の見通し	14
	（1）8年後の目指すべき人口規模	14
6.	本町を取り巻く時代の潮流	15
	（1）人口減少・超少子高齢社会の到来	15
	（2）大規模な自然災害等の発現率の高まり	15
	（3）地方分権の位置づけ	16
	（4）産業構造や雇用形態の変化	16
	（5）地域コミュニティの希薄化	16
	（6）高度情報化社会への進展	16
	（7）環境問題をめぐる動向	17
	（8）青少年を取り巻く環境の変化	17
7.	本町のこれからの課題	18
	（1）生活者視点の暮らしやすいまちづくり	18
	（2）安心・安全で美しいまちづくり	18
	（3）活気にあふれた魅力的なまちづくり	18
II	基本構想	21
1.	まちづくりの基本理念	21
2.	将来像	21
3.	政策・施策の体系	22
4.	政策・施策の大綱	23
	（1）生活者視点の暮らしやすいまちづくり	23
	（2）安心・安全で美しいまちづくり	28
	（3）活気にあふれた魅力的なまちづくり	35

3. 総合計画の構成等

(1) 構成・計画期間

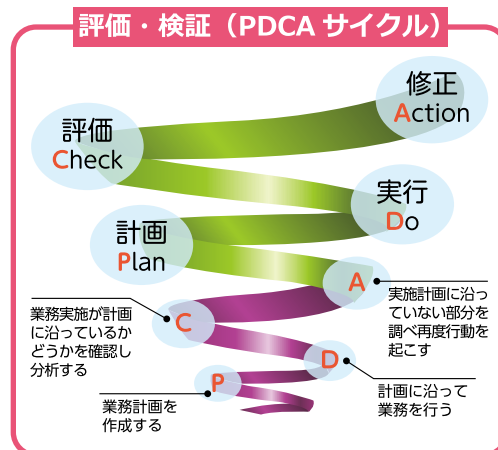
本計画は、基本構想・基本計画（基本事業と重点取組）の2層で構成されています。
 基本構想は、平成28～35年度までの8年間を計画期間とします。
 基本計画は、前期を平成28～31年度までの4年間、後期を平成32～35年度までの4年間とします。なお、平成31年度に前期基本計画を見直し、後期基本計画を策定することとします。
 基本計画には基本事業及び重点取組を掲載しており、2年ごとに更新することとします。

❖ 第6次多度津町総合計画の期間



(2) 評価・検証

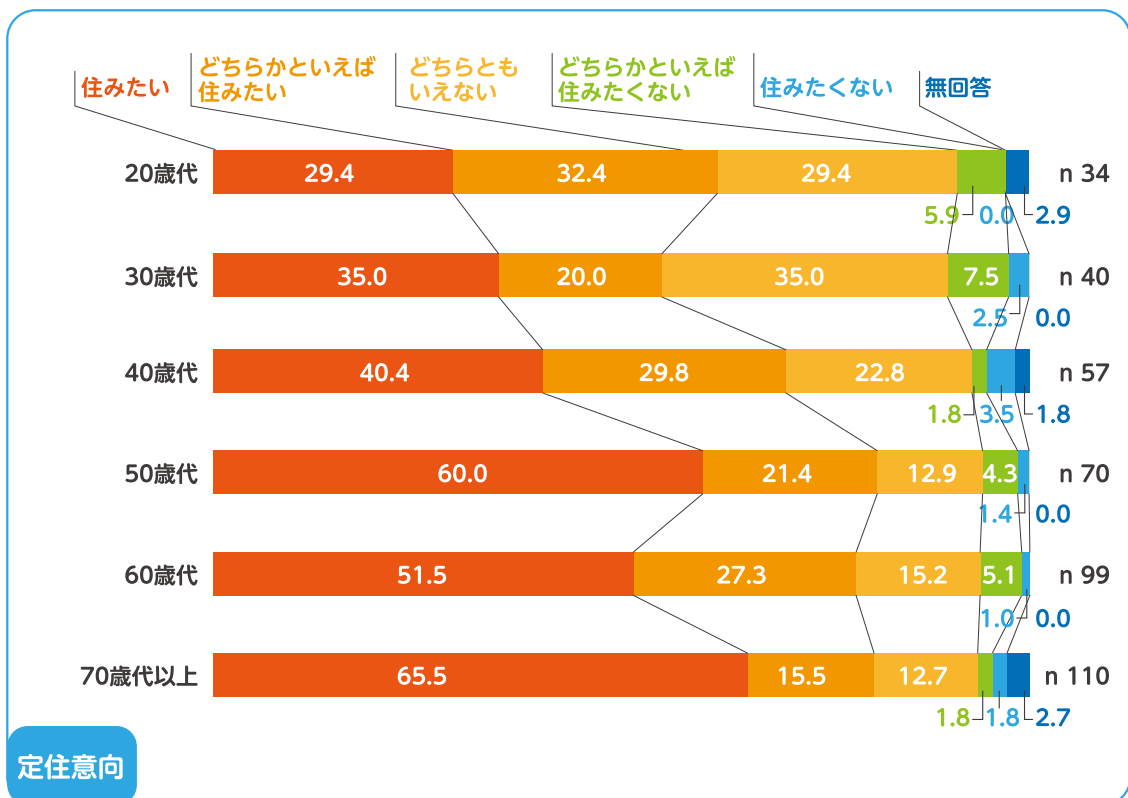
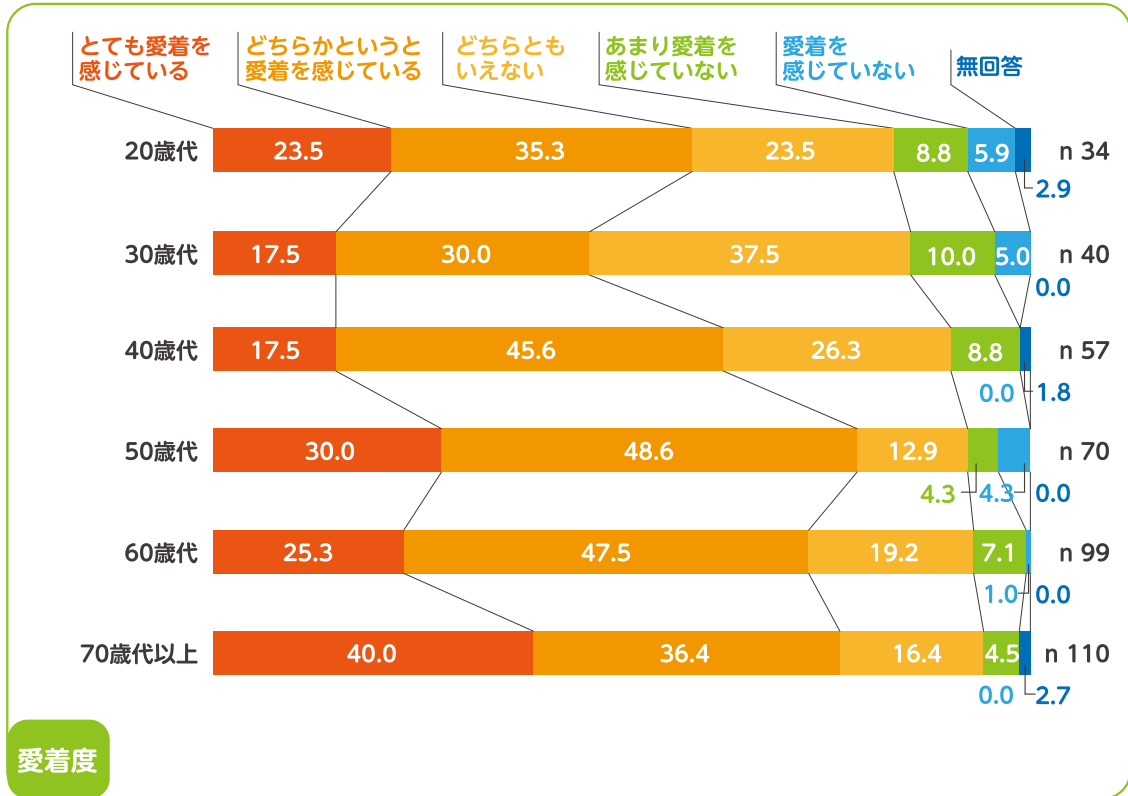
基本計画が計画通り進捗しているかを確認するため、4年ごとに基本事業及び2年ごとに重点取組の評価を行い、PDCAサイクル¹に基づいた検証に努めます。



¹ Plan(計画)・Do(実行)・Check(点検・評価)・Action(改善・処置)の頭文字を取ってPDCAサイクルという。



しかし、年代別にみると、30歳代の愛着度・定住意向が低くなっており、子育て世代の流出が懸念されます。





③ まちの各環境に関する満足度と重要度の相関からみえる課題

多度津町の各環境について、現在どの程度満足しているか、どの程度重要視しているかを把握するため、「1 健康・生きがい」、「2 福祉・共助」、「3 環境・衛生」、「4 水・自然」、「5 消防・防災・防犯」、「6 建設・交通」、「7 産業・観光」、「8 教育・文化」、「9 地域・協働」の9分野35項目を設定しました。

満足度は、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価しました。

重要度は「重要である」、「やや重要である」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価しました。

この結果を加重平均値による数量化で評価点（満足度・重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

【満足度】

この結果、満足度評価が最も高い項目は、「安全で安定した水道水の供給」（6.41点）となっており、次いで「消防・救急・防災体制の整備」（2.95点）、「環境衛生の充実」（2.09点）となっています。

一方、満足度の低い項目は、「観光資源の創造・観光客誘致の推進」（-1.10点）が最も低く、次いで「合理的な都市計画の推進」（-0.52点）、「雇用・勤労者対策の充実」（-0.51点）となっています。

全体的にみると、35項目のうち満足度がプラス評価の項目が27項目、マイナス評価の項目が8項目となっています。

【重要度】

重要度評価が最も高い項目は、「安全で安定した水道水の供給」（7.73点）となっており、次いで「保健・医療の充実」（7.58点）、「消防・救急・防災体制の整備」（7.02点）、「社会保障制度の適切な運営」（6.83点）、「児童福祉・子育て支援の充実」（6.74点）、「学校教育の充実」（6.72点）となっています。

※加重平均値の算出

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度・重要度）を算出する。この算出方法により、評価点は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

9. 第6次多度津町総合計画 策定経過報告

平成25年度

- 26.1.7 第1回総合計画策定委員会設置（策定方法、計画内容等の方針を検討）
・第6次多度津町総合計画コンセプトについて
- 26.3.6 多度津町まちづくり委員会設置要綱告示

平成26年度

- 4.7 第2回総合計画策定委員会開催（新年度からの取組みについて協議）
・幹事会、まちづくり委員会設置について
- 5.1 総合計画策定委員会幹事任命
- 6.4 第1回幹事会開催（より専門的な事項を処理するとともに各所属と事務局との緊密な連携を図るため、幹事会を設置）
・住民アンケートについて
・まちづくり座談会について
・各種事業計画について
- 6.16 第6次多度津町総合策定に係る住民アンケート実施
- 7.14 第1回トップインタビュー
- 7.22 まちづくり座談会座員公募
- 8.28 第1回多度津町まちづくり委員会
・委員紹介、委員長、副委員長、座談会座長選任
・委員会、座談会趣旨説明
- 9.3 各課宛 重点事業調査ヒアリングに関する「事業シート」作成依頼
第2回幹事会（これまでの取組み成果及び今後のスケジュールの確認）
- 9.1 住民アンケートの集計結果
・まちづくり座談会への支援について
・重点事業調査ヒアリングについて
- 9.18 まちづくり座談会（健康・生きがい分野）
- 9.25 まちづくり座談会（水・自然分野）
- 10.2 まちづくり座談会（産業・観光分野）
- 10.3 各課から重点事業調査ヒアリングに関する「事業シート」集約完了
- 10.6 「事業シート」所属長ヒアリング
（福祉保健課、健康センター、住民課、教育課、環境課、出納室）
- 10.9 まちづくり座談会（福祉・共助 分野）
- 10.14 「事業シート」所属長ヒアリング
（産業課、上下水道課、建設課、町長公室、政策企画課）
- 10.16 まちづくり座談会（消防・防災・防犯 分野）
- 10.20 「事業シート」所属長ヒアリング（総務課、税務課、消防本部、議会事務局）
- 10.23 まちづくり座談会（教育・文化 分野）
- 11.6 まちづくり座談会（環境・衛生 分野）
- 11.13 まちづくり座談会（建設・交通 分野）
- 11.20 まちづくり座談会（地域・協働 分野）
- 12.18 第2回多度津町まちづくり委員会
・まちづくり座談会報告について
・総合計画基本構想に関する町長への提言について
- 27.1.8 第3回幹事会開催（取組項目の進捗状況の報告）
・まちづくり委員会提言（案）について
・第6次総合計画政策体系（案）について